

No. 1680

社会党離脱、不安のスタート

——羽田連立内閣——

4月25日衆議院本会議で首班指名選挙が行われました。

「羽田孜君274票、河野洋平君207票・・・」と事務総長。

土井議長が「羽田孜さんを内閣総理大臣に指名します」と発言。

第80代首相に指名された羽田首相は早速首相官邸に入り組閣準備を始めました。しかし新生党、民社党などが社会党ぬきで統一会派「改新」を結成したため社会党が不満を示し連立から離脱しました。

4月28日に社会党ぬきで組閣が行われ羽田内閣が正式に発足。羽田首相は「改新と強調の政治」をモットーに初閣議に臨みました。

細川前内閣に比べ新生・公明両党の比重が高まり両党主導のもと94年度予算成立に全力を挙げる政局運営を前に「南京大虐殺はでっち上げ」発言で永野法務大臣が辞任に追い込まれるなど日米の経済問題、税制改革、区割り法案と難問山積の中少数与党内閣にとって厳しいスタートとなりました。

日本逆転、フィジーに連勝

——国際親善ラグビー——

国際親善ラグビー日本代表対フィジーのテストマッチ第2戦が4月15日東京・国立競技場で行われました。

若い選手を主体に張切るフィジーが前半10分最初のトライをきめ5：0、つづく14分にもP・Gを決めて8：0とリードします。日本も34分P・Gを決め手8：3で前半を終了。

後半に入ると日本は9分P・Gを成立させて8：6とフィジーに迫り、14分味方陣内から吉田のキックで前進、インゴールに転がるボールをF・B松田が押さえ、ゴールもきめて13：8と逆転。日本は数回にわたるフィジーの部厚い攻撃をタックルでふせぎ逆に終了間際にトライを奪い、結局20：8で日本代表が連勝し10月のW杯予選となるアジア大会に向けて弾みをつけたようです。

ネガティブ有り